



会長あいさつ

山形県在宅保健活動者連絡協議会（いつわ会）

会長 水上 由美子

いつわ会の皆様いかがお過ごしでしょうか？

コロナ禍が一年以上続き、世の中には何となく重い雰囲気漂っているようです。最前線に携わっている医療関係者や保健所の方々の御難儀を思いやると、虚しくも哀しくなります。しかし、「災難」と思われることにも、悪い面ばかりでなく良い面がまあまああるものです。私の場合、外に出たり人と会ったりする機会が減ったため、家族と過ごす時間を多くとることが出来ました。90歳を過ぎた親達が、大した病気もせず健康で暮らし、孫たちの日々の成長する姿に接しているのは、やはり有り難いことです。

7月末の時点で、65歳以上のワクチン接種は、大半が完了していると思われますが、まだまだ、今年度のいつわ会事業もいつから活動できるか見通しが立っていません。一方で、国は6月に骨太方針を決定し、新型コロナ禍で、生活習慣病やフレイル、認知症の進行などの新たな健康課題が生じ、予防・重症化予防・健康づくりへの支援を推進するとしております。市町村が感染症対策等でマンパワーが不足する中、今後もいつわ会に求められる、役立つ活動を模索していきたいと考えております。

この会報が皆様のお手元に届くころには、テレビで、オリンピックやパラリンピックを観戦しているのではないのでしょうか。また、多くの会員の方々がそれぞれの地域で、ワクチン接種の現場に従事されていらっしゃるようです。本当にご苦労様です。コロナ禍が落ち着き、また再び皆様と元気な笑顔でお会いできますことを心待ちにしております。

令和3年度事業計画

事業名	日 時
役員会	第1回令和3年4月30日※ 第2回令和3年12月予定
健康まつり等への支援	随時
救護	随時
高齢者地域サロン	随時
会報発行	2回発行予定（8月、3月）
活動状況アンケート調査	令和4年2月予定
東北地方在宅保健師等会 連絡会議（新潟県開催）	令和3年12月3日 （テレビ会議）
都道府県在宅保健師等会 連絡会議	未定

※第1回役員会は書面協議で開催

令和3年度いつわ会役員

(任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日)

役職名	氏 名	職 種	選出ブロック
会 長	水上由美子	保健師	村山
副 会 長	鈴木 式子	看護師	置賜
常任幹事	白田 裕子	保健師	村山
幹 事	井上とし子	助産師	村山
幹 事	武田 孝子	保健師	村山
幹 事	長南 智美	保健師	最上
幹 事	鈴木 京子	看護師	最上
幹 事	牧 由美	助産師	庄内
幹 事	渡部泰恵子	助産師	庄内
幹 事	今野さゆり	歯科衛生士	置賜
幹 事	竹田 俊子	管理栄養士	職能
幹 事	飯田 陽子	歯科衛生士	職能

今年度から2年間お世話になります役員の方々です。皆様どうぞよろしくお願いします。

会員からのメッセージ

～会員の皆様の活動や近況など～
(寄稿は令和3年3月)

コロナ禍の生活の中で今出来ること

保健師 渡部 京子

コロナ禍の中で、いつわ会会員として実践していることを記す。第一に健康であることの為に食生活、運動に知恵を使うこと。次に心の健康を保つ為に未来への希望を生む図書館利用をして暮らすこと。家事は生きている限り続きます。今までのつながりの方々へ手紙、電話等で交流しつつ、シンプルな生活へと変化させていきます。未来への社会参加は、地域や県内のイベントに参加すること。地域や県民会館の観劇を積極的に利用しています。

何気ない日常

保健師 水上由美子

「やまと尼寺精進日記」をご覧になったことがありますか?月1回日曜Eテレで放映しています。愉快的な尼さんたちが日々信仰の生活を守りながら、作り出す精進料理がとても魅力的なのです。山に自生している野草や木の実や、いただき物の野菜を丁寧に料理して膳を整えていく様子は、本当の「豊かさ」って何だろうと考えます。今年は大雪でした。春になったら畑に種や苗を植えて、孫たちに美味しいごはんを作ってあげようと思っています。

看護師 高橋美豊子

いつもいつわ会の会報をいただき恐縮しております。80歳を過ぎましたが介護のお世話にもならずボケ予防にパソコン教室に通っております。新型コロナの為に外出もままならず足腰が筋力低下してきたようです。皆様の元気なお姿を想像しながら応援いたしております。本当に長いことお世話になりありがとうございます。

雑感

匿名

皆様こんにちは。コロナで大変な一年でしたが、看護職への期待、要望が多くあり日々忙しくしております。在職中は余り気にすることもなかった市町村、行政との連携に悩ませております。地域の看護職の立場は難しいですね。皆様お身体を大切に!!

70歳を前にして

保健師 佐藤さえ子

昨年度は、遊佐町で特定健診未受診者への電話勧奨を行いました。これが国保連合会の事業だということを直前に知り、いつわ会への入会もしたところでした。短期間でしたがとても緊張しましたし、終わってみれば現職の保健師、事務担当者との交流もあり心地良い満足感も。ラフターヨガ、太極拳、冬はスキーを楽しみながら畑の準備を始めています。心と体のメンテナンスのために一人タイムを大切に。

コロナ禍での料理教室

管理栄養士 小林 恵美

私の主な仕事に料理教室があり、安全に開催するために様々な約束事を遵守しています。しかし、昨年は一週間前に近隣でクラスターが発生し、泣く泣く中止した例もありました。日頃から衛生管理には気配りをしていましたが、今までに経験したことが無い新たな注意点が加わり一層緊張感を持って臨んでいます。でも本来作って食べることは楽しみな事のはず…。安全を確保しつつ作る楽しみを味わえる料理教室を今後も目指したいと思っています。

看護師 岡部久美子

この一年間、ひたすらスティホームに徹していました。

看護協会といつわ会への思い

看護師 石山 節子

地震、津波、雷、火事、コロナ、暗いニュースに心痛める令和。コロナウィルス感染症にかかわる医療スタッフの不足に対して、国が日本看護協会に協力依頼をした時、協力意向が早く非常に助かったとのニュースにとっても嬉しかった。大変な医療従事者として御自分の健康管理に留意しながら頑張ってくださいと祈りました。山形県下でも新型コロナウイルス感染症に、いつわ会の力が発揮できることを切望します。「梅一輪一輪ほどのあたたかさ」、息を大きく吸って安心安全な日々が一日も早く到来することを祈りで!

保健師 高山喜志子

会員並びに事務局の皆様のご活躍で、いつわ会への入会もあり、益々期待いたします。一同に会することが出来なく新しい生活は孤立しがちです。コロナ流行で、今さらながら伝染病や地域の保健衛生行政に、いつわ会会員の職種は重要な役割をもつことを再認識いたします。今後も地域の方々と共に、住み慣れた地で心かよう日常生活を互いに補いあって、笑みのある交流を続けられるようにしていきましょう。

経験を語り継ぎ残すこと

保健師 荒井 幸子

戦時や戦後の生活を経験した数少ない世代になりました。若い頃、親や先輩の話を「また昔話」と聞き流していましたが、この年になり伝え継ぐことの大切さを実感しています。戦中・戦後の活動、震災や洪水、猛暑、コロナ禍での日常生活、それに伴う看護活動の実態を語り、書き残すことです。その時の知恵や工夫が伝承され歴史となっていきます。エンディングノートの記載と併せコロナ禍で変わった葬式や日々の生活を綴っています。

〈短歌〉

保健師 柿崎 節

『思ひ切りマスク外して笑ひたい
友の賀状に同感のエール』
『新玉の年にはコロナ和らげと
夫念入りに神棚掃除』

第1回 山形大学生元気100倍! 応援パントリー

看護師 櫻井富士子

生協活動のつながりで山形大学生協を通じて学生さんに食料品や文房具を贈る活動をしました。コロナウィルス禍の中「山形大学生元気100倍!応援パントリー」と題し、学生さん達を支援しようと小白川キャンパス内で実施。地域の営農組合などの協力を得て、米や丸餅、卵スープ、ドレッシング、即席ラーメン、ルーズリーフを用意し、希望する学生さんに配りました。瞬く間に学生さんが行列、お渡しすると学生さん達は大喜びでした。参加スタッフも元気をもらった取り組みとなりました。



12月21日(月)に山形大学小白川キャンパスで第1回『山形大学 元気100倍!応援パントリー』

助産師 井上とし子

家にいる時間が多く、食べることで、体が重くなったのと運動不足を感じるこの頃です。また、年齢を感じています。転倒して骨折してしまいました。これでは何の力にもなれないなあと思ったところです。



雑談の大切さ

保健師 尾形 美恵子

コロナ禍で、コタツに入り、ゲームやユーチューブを見て、お菓子を食べてゴロゴロの生活を送っています。生身の人間との何気ない会話に飢えています。雑談って人間にとって必要不可欠なものと再確認しました。先日、お友達と少しの時間だけコーヒーショップでお茶の時間を取りました。なんて楽しんでしょ。コロナ禍がおさまリ、いつわ会の研修会で、会員の皆さんとお会いできる日が来るのを待ち望んでいます。



目には見えない繋がりを感じて

保健師 村林 裕子

私は卒業以来、出身地の青森県下北で保健師として働いてきました。在職中にも多くの友に恵まれ、県職、市町村の壁もなくお付き合いさせていただきました。62歳で地元退職後に、孫子守りの為山形市に住むことになりました。友の会の形態は違えど山形の友の会に入ることを勧められ、お仲間入り致しました。この度、その中の繋がりに再び保健師の仕事が出来ることとなりました。心より感謝を込め、投稿させていただきます。



コロナ禍の中で

看護師 鈴木 式子

昨年より新型コロナウイルス感染症の拡大で、いろいろな活動や事業が自粛を余儀なくされています。私が勤めるディサービスではスタッフ初め、その家族や利用者の方々や御家族からも濃厚接触者も出ず、休まず事業を続けております。病院や福祉事務所におけるクラスター発生のニュースにヒヤヒヤしながらも感染防止をしっかりとしてきました。県内における感染者も減少してきておりますが、気を緩めず利用者の方々に楽しんでいただけるようお手伝いをしていきたいと思っています。



たわむれの彼岸

保健師 瀬尾 千代子

何のニュースもありませんのでお笑いを一席！彼岸の最終日、母の13回忌合同法要に参加。その後、塔婆を受け取る段になり母のがない！実家のはある(屋号で)。戒名を見てもピンとこないが(自分も不確か)担当の方はこれに違いないと譲らない。不審に思いながらも墓に立てた。どうにも気になり携帯で写真をとり自宅に帰り連れに見せたら、これは実家のお父さんのだと笑われたが、大姉と居士の区別も定かではなく、随分私もボケたものと大笑い。「母があのお世で驚いているかも」と連れは急いで交換に走ったのでした。



春だ。片付け進むかなあ。

保健師 大竹 美喜

春だ。片付けよう。昨年は弟夫婦が泊りに来なかったのを口実に、片付けが進まなかった。畳の見える部分が少なくなり、倒れ現象もおきそうだ。元来、片付けは好きでないのて上手にできない。どれが、いらぬ物がわからない。でも、もう使わないものは捨てるか、バザーに出すしかないだろう。昨年はバザーも開かれなかった。とにかく昨年使わなかったものは捨てることにしよう。始めるぞ。



コロナ禍での私

看護師 伊藤 芳子

高齢者施設で働く私は、コロナの感染から自分と周りの人を守るため、住む町以外への移動はほとんどありません。今の私の生活は、流行以前とほぼ変わらないため全く苦になりません。ただ、隣県に暮らす子供家族や、遠くにいる妹弟に会えないのが辛いです。一日も早く、コロナの感染が終息し、人々が自由に交流し笑顔で会話できる日が来ることを願うばかりです。

役員終了にあたって

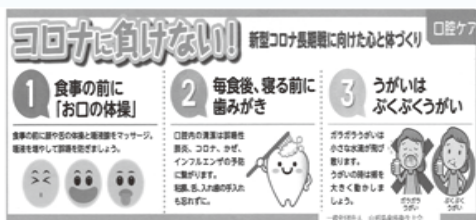
匿名

今回でいつわ会役員の任期(2年間)が終了します。令和2年度はコロナ禍で役員会は開催できない状況でした。それでも役員を経験したことで、いつわ会や国保連合会の事業を知ることができました。地域のコロナワクチン集団予防接種の支援の依頼がありました。協力できることがあれば協力していきたいと思います。地域から必要とされていることは有難いことです。今後は一会員として活動に参加していきたいと思っています。

歯科衛生士 飯田 陽子

マスクの着用が日常化し口臭が気になったり、顔の筋肉が緩んでたるみやほうれい線が気になる人も多くなったそうです。口呼吸になり、唾液の分泌が減ったことや、表情筋をあまり使わないことによる筋肉の衰えもあるそうです。歯磨きやうがいをしていた洗面所が感染源と推測されるクラスターが発生したとの報告もあります。飛沫が感染経路になっていることははっきりしています。感染予防をしながらお口体操して機能を維持したいと思っています。

〈コロナに負けない 口腔ケア〉
山形県歯科衛生士会作成チラシ



国保連合会とともに (いつわ会退会に思う)

保健師 伊藤 ミエ子

昭和37年県立高等保健看護学院保健婦学部入学。国保連合会奨学金をうける。

学院のへき地研修で小国町の山奥のへき地へ。熊谷保健師さんの保健師活動の話に感動「喜びも悲しみも地域の人々と共に」
「へき地研修の感想」を連合会の「国保やまがた」に書く決意となる。

保健師新任地は金山町、そして舟形町で退職。当時から昭和52年まで国保特別会計の国保保健師。昭和53年国の第1次国民の健康づくり対策が出てここから一般会計の町保健師に。

平成10年1年早く退職。町にある老人福祉施設へ就職。6年間勤務。介護保険法施行に向け走りながら考える列車に乗る。保健師の続き、町の人たちの老後に向き合えることは嬉しく喜びであった。この期間中(平成13年)「いつわ会設立」会員(2年間役員)となり、また町の国保運営協議会の委員となる(10年間)など。そして今回の退会までです。連合会の支えあつての保健師でした。保健師の初歩から今までこんなに長くお世話になり連合会ありがとうございます。心からそう思います。いつわ会の役割は大きいです。コロナ禍の中で何もお役に立てないこと申し訳なく思います。皆様お元気でご活躍くださいますようお願い申し上げます。「頑張ってください!!」

※(いつわ会長あてにお手紙をいただきましたので、皆様にお伝えさせていただきます。)

事務局からの お知らせ

市町村保健事業担当者の皆さんへ!

いつわ会では、健康・栄養相談、訪問指導、その他の保健事業に保健活動者を派遣しています。健康イベント等の際の健康相談、救護等に依頼してみませんか?

会員の皆様へ!

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度に引き続きいつわ会の全体研修会及びブロック研修会は、残念ながら中止とさせていただきます。また、毎年ご案内しております、山形県国保地域医療学会は、来年度に延期することになりました。

会員の状況

(令和3年7月1日現在)
会員数 222名
(平均年齢 68歳)

職種・地区別

	村山	最上	置賜	庄内	合計
保健師	38	14	15	23	90
助産師	9	1	0	4	14
看護師	13	9	10	31	63
准看護師	3	3	3	1	10
管理栄養士	8	4	6	4	22
栄養士	2	0	1	0	3
歯科衛生士	11	3	6	0	20
合計	84	34	41	63	222

令和2年度「いつわ会会員活動アンケート」集計結果 (抜粋)

調査期間/令和3年年2月から3月 配布数/230 回答数172 回収率/74.8%

1 令和2年度に行った保健活動内容(複数回答)

市町村保健事業関係 2,273回/年 75人

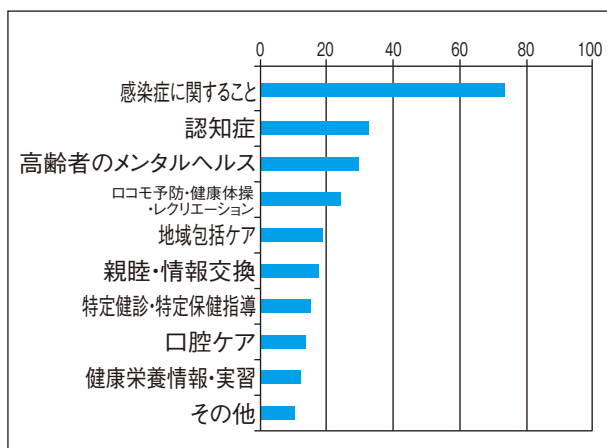
- 1位 乳幼児健診・母子歯科事業など(43人)
- 2位 介護保険関係
[予防・調査・認定審査](26人)
- 3位 特定健診・特定保健指導(16人)

その他(地域・施設) 2,936回/年 83人

- 1位 地域での支援・ボランティア(23人)
- 2位 民生委員等地域の委員(20人)
- 3位 施設での支援・ボランティア(17人)

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、保健事業等が中止、延期になり、昨年より活動が減少しました。

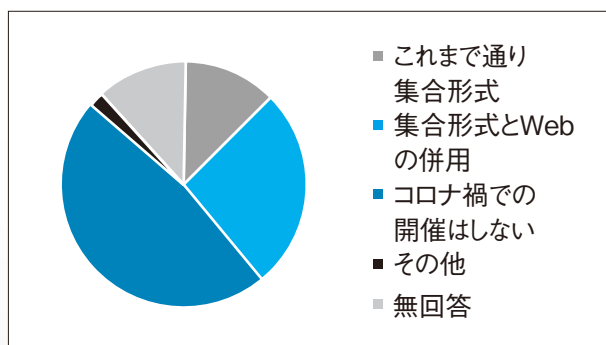
2 全体研修会の希望内容について(複数回答)



※ 「感染症に関すること」の希望が一番多く、次に「認知症」「高齢者のメンタルヘルス」と続いています。

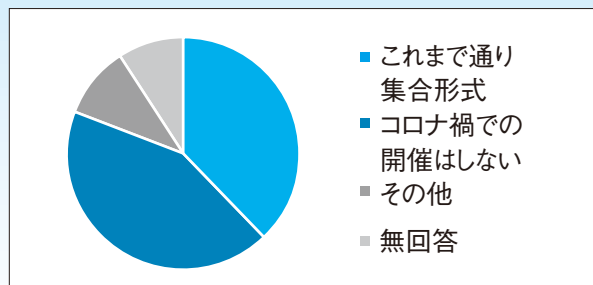
3 全体研修会の参加形式

※約半数の方が、コロナ禍での開催希望なし



4 ブロック研修会参加形式

※約半数の方が、コロナ禍での開催希望なし

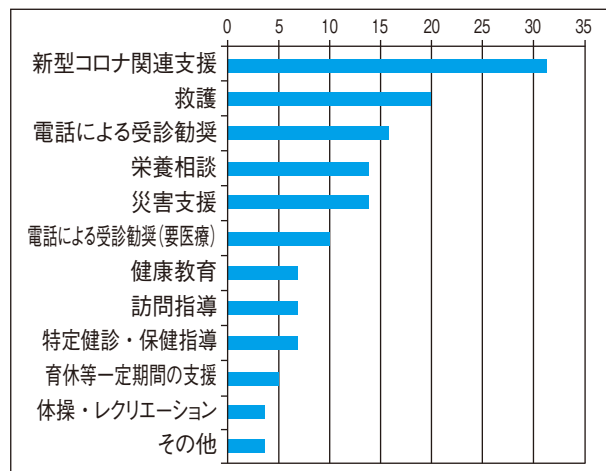


5 市町村等へ支援協力について

172名のうち、支援協力できる63名

- 1位 新型コロナ関連 (31人)
- 2位 救護 (20人)
- 3位 電話による受診勧奨(16人)

支援協力できると答えた63名の項目内訳(複数回答)のグラフです。



※ 「新型コロナ関連支援」が最も多く、すでに保健所への支援、また市町村等の予防接種事業への協力を行っていただいております。

会員募集

入会費・会費無料

あなたも
楽しく活動してみませんか?

今までの専門職としての経験を、自分の住んでいる地域の健康づくりに役立てましょう。お知り合いの方にぜひご紹介を!!

申し込み、問い合わせは、事務局連絡先まで

事務局 〒991-0041

山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地 国保会館内
山形県国民健康保険団体連合会 事業課保健事業係
TEL0237-87-8002 FAX0237-83-3353

印刷 コロニー印刷